

日付	JIS番号：発効年 規格名称	件名	問合せ内容	回答
2023. 08. 28	JIS R 3206:2023	JISR3206:2023における型板強化ガラスの受渡検査項目について	<p>表面圧縮応力の測定は、錫拡散層があるフロート板ガラスなどを前提としている（JISR 3 2 2 2 箇条8.4参照）。型板強化ガラスの素板である型板ガラスは、その製法（ロールアウト法）により表面に錫拡散層がないため、型板強化ガラスは表面圧縮応力を測定できない。このため、型板強化ガラスは受渡検査における機械的強度（表面圧縮応力値）を省略してよいか。</p> <p>なお、箇条9 b)受渡検査のただし書きには、受渡当事者間の協議により一部の検査を省略してもよいと記載があるため、型板強化ガラスの受渡検査項目については、受渡当事者間の協議を行い、省略することになる。また、機械的強度の形式検査は、箇条5.3により4点曲げ強度を実施する。</p>	<p>省略してもよい。 (補足) JIS R 3222では、錫拡散層を有するガラスに対して表面圧縮応力が測定できる示差屈折計及びバビネ式の表面応力計が規定されていますが、錫拡散層が無い型板強化ガラスでは、これらの測定器で表面圧縮応力が測定できないのが現状です。</p>